

The 2 Chome Times 2026年 1月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



2026年・1月・25日

NO 332号。

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス 1月号

編集：企画・商業振興部、編集長：井上晶雄 <https://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com



フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目で KOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★新年会大盛り上がりでした！

1月6日（火）に今年も三宮センター街2丁目商店街振興組合の手作りの新年会が行われました。センタープラザ西館6階の会議室で約100名の方々がご参集下さいました。遠方からでは高知県梼原町、高橋基文町長以下、数名の町の方々が我が町との繋がりを大事にして駆けつけて下さり、高橋町長からは神戸と高知の繋がりを交えた祝辞を頂きました。また前兵庫県知事の井戸氏からもご挨拶を頂きました。他にも兵庫県立こども病院の方々や、

宮崎県大阪事務所、宮崎カーフェリー、沖縄県大阪事務所、神戸市の方々、生田神社など多くの関係者の皆様が新年会に足を運んでこられ、和気あいあいとした雰囲気の中、



大いに交流を深めました。そしてウクライナ避難者も数名、とりわけ、フィギュアスケートで今季引退を表明している坂本花織選手の出身高校である長田区の野田高校に進学したマリヤさんもバトミントンの練習の後、ラケットとバッグを抱えたまま会場に寄ってくれました。日本酒で乾杯しました

が、富山県、宮崎県、高知県、沖縄県からもご当地の御酒が届き、これも2丁目が日頃大事にしている「外交・交流」のお陰だと確信しています。今年も皆様との繋がりを大事にする街で在りたいと思っています。

★阪神淡路大震災から31年です

阪神淡路大震災から31年となる17日（土）に毎年行われている犠牲者の追悼式が生田筋のアートスクエアで午前11時から行われました。1分間の黙とうの後、関係者や通行人の方々も含めて、次々と献花を捧げました。あの時に亡くなられた身近な方々を思い浮かべると、胸に込み上げて来るものがあり、とても31年前の出来事とは思えません。そして現在も活発な地震活動が続いている日本列島では、常に頭から地震の事が離れず、どこかで緊張を感じています。今回の追悼式では小さなお子様や、前日に学校で震災について学んだばかりの小学生の子供さん達も多く献花に参加されていました。皆様の表情を観ていても心からご冥福をお祈りされている様子で、何年経っても決して忘れることなく、これからも犠牲になられた方々の御靈に想いを馳せていく、その気持ちを大事にして行きたいと感じました。



★鏡開きを行いました

1月15日に新年会で使われた鏡餅（写真に写っているものです）を使って福祉法人才オリンピアさんの全面的な御協力もあり、2丁目の事務所で鏡開きを行い、皆様にぜんざいが振舞



われました。この鏡餅は通常よりかなり大きなお餅ですので、多くの方々に振舞う事ができました。皆様にも大変ご好評で、話も弾み、新年会の延長の様な空気感でした。ちょうどお昼時でお替りされた方も複数おられ、オリンピアさんのお料理の腕前にも感謝しながらの楽しい一時でした。来年も同じ1月15日の12時から鏡開きを致しますので、どうぞ皆様もお立ち寄りください。



★アーケードの消防点検を行いました

年末、12月23日にアーケード消防点検が消防署員の方々によって行われ、担当理事が立ち会いました。

非常警報ボタン・放水口・登はん梯子・アーケード開閉ボタン等の位置の確認や、作動状況の点検も行われました。写真では分かり難いですが、署員の方が登はん梯子で実際にアーケードの開閉口まで上がられ（これが実際には梯子が揺れるなどして結構恐怖を感じます）、非常時の確認もされていましたが、サビも頭に落ちてきて、目の中に入りそうになったりご苦労されていました。今回の点検では大きな瑕疵は確認されませんでしたが、機械式に降りてくるはずの登はん梯子が作動しなかったり、梯子の上部にワイヤーが絡みかけている状況が発見され、急遽業者と対応を取ることになりました。実際に火災が発生するとパニックになり、どう対処すればいいのかわからなくなるのが人間ですから、何処にどのようなスイッチがあるのか確認出来ただけでもありがとうございます。



★編集後記

新年明けましておめでとうございます。6日に発生した島根・鳥取で発生した最大震度5強の地震にはかなりヒヤッとしました。比較的被害の程度がそこまで大きくは無く幸いでしたが、「新年のスタートにまたか」という気持ちにさせられました。災害に対してはもはや「想定外」という言葉は存在しないでしょう。さて今年の干支「丙午（ひのえうま）」は、十干「丙（ひのえ）」と十二支「午（うま）」の火の性質が2重に重なる年となります。歴史学者・東洋古代思想史研究家の村上瑞祥氏によりますと、2026年丙午は「自分から動く・表現する・決断する」が開運のポイントなのだそうです。火のパワーを恐れずに、計画的・冷静な行動をセットにすることで、飛躍的な運気上昇につながり、英知たれば飛躍、足らざれば破滅だと教えてくれています。つまり「丙午」は、干支60種類で一つだけの最大級のエネルギーが溢れる年となるが、「功への鍵は冷徹な英知」なのだとそうです。理性的な英知をもってすれば、想像を超えるほどの発展や成長、飛躍が期待できる年とも言えるのです。世界には「きな臭い」雰囲気が漂っていますが、何とか「冷徹な英知」で争いを回避できればと願うばかりです。



今年もご愛読の程、宜しくお願ひ致します。

美しい街 共に歩む ビルメンテナンス

つるかめ管財株式会社 078-371-3589

